

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

第4回 熊本大学学際セミナー

未来社会における我々の役割と責任 持続可能な社会像を描く を開催します。

熊本大学では、このたび、大学院社会文化科学研究科、同自然科学研究科、同医学薬学研究部主催によるセミナーを開催します。一つのテーマについて、学問領域の壁を越えて議論し、未来に向けて学問・研究の在り方を考えます。交通や疾病など身近な問題を取り上げます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいたくとともに、当日の取材方、よろしくお願ひいたします。

記

【日 時】平成20年9月30日(火) 13:30~17:30

【場 所】熊本大学 大学教育機能開発総合研究センター C201教室(黒髪北地区)

【件 名】未来社会における我々の役割と責任 持続可能な社会像を描く

【プログラム】

13:30~ [挨拶] 崎元 達郎 熊本大学長

13:40~ [司会挨拶] 高橋 隆雄 大学院社会文化科学研究科長

13:45~16:30 [プレゼンテーション] 主旨は別紙参照

1. 「熊本電鉄 LRT 化計画と利用促進のための継続的モビリティ・マネジメント」  
溝上 章志 大学院自然科学研究科教授(都市・交通計画学)

2. 「新しい政策形成システムの構築に向けて」  
秋吉 貴雄 大学院社会文化科学研究科准教授(政策科学)

3. 「鉱物資源の利用から見た持続可能な社会の実現のために」  
尾原 祐三 大学院自然科学研究科教授(資源開発工学)

4. 「薬と人間のあり方の将来像」 入江 徹美 医学薬学研究部教授(薬剤情報分析学)

5. 「糖尿病と社会 その脅威をいかに克服するか」  
荒木 栄一 大学院医学薬学研究部教授(糖尿病・代謝・内分泌学)

6. 「ソーシャル・キャピタルと地域社会」上野 眞也 政策創造研究教育センター教授(政治学)

16:40~ 質問と討論

17:25~ 挨拶 檜山 隆 大学院自然科学研究科長

【参加対象】どなたでも

入場料無料、申込不要です。

詳細は大学ホームページに掲載しています。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp>

~お問い合わせ~

人文社会科学系事務部総務担当

TEL: 096-342-2398

## テーマの意図

現在、持続可能性社会の問題として、地球環境問題（環境汚染、化石エネルギー枯渇、人口膨張、食糧危機）、都市問題、農村問題、医療福祉問題、国際関係問題等が俎上に載せられてきています。そして、それらすべての問題は相互に関連しつつ、従来の基本枠組みへの根本的反省と新しい枠組みの検討を我々に迫っている。こうした時代にあって、持続可能な社会とは何がどのように持続する社会であるのかという基本的かつ総括的問いかけとともに、持続を脅かしているものは何か、持続するためには何が必要なのか、そのためにはいかなる方法があるのか、といった問いがそれぞれの領域ごとに論じられるべきです。

今回で4回目を迎える熊本大学学際セミナーでは、「持続可能な社会像を描く」という副題のもとで上記の問いを徹底的に吟味し、回答を試みたいと考えています。

## 講演内容（講演者順）

1. 溝上章志 「熊本電鉄LRT化計画と利用促進のための継続的モビリティ・マネジメント」  
まちづくりに貢献する熊本電鉄のLRT化計画をめぐる計画立案、需要予測、費用便益分析、利用促進策、答申内容など、一連の経緯を紹介し、公共政策の評価と意志決定プロセスの課題について考えます。
2. 秋吉貴雄 「新しい政策形成システムの構築に向けて」  
わが国の政策形成システムの問題について、「専門家知識」と「非専門家知識」に焦点を当てながら考察します。そして、政策科学が提唱してきた参加型政策分析の概念をもとに、政策形成への知識提供システムのあり方について提示します。
3. 尾原祐三 「鉱物資源の利用から見た持続可能な社会の実現ために」  
ミニ地球に例えられているイースター島が経験した例を示すとともに、鉱物資源の利用についての人類の過去の経験を顧みながら、過去100年間の鉱物資源の爆発的な使用を分析するとともに、地球上の鉱物資源を長期的に利用するために必要な方法を議論します。
4. 入江徹美 「薬と人間のあり方の将来像」  
薬は歴史の貴重な遺産であるが、使い方によっては毒にもなる。複雑・多様化する医療の中で、人間は薬とどのようにつきあうのか、薬と人間のあり方の将来像を考えます。
5. 荒木栄一 「糖尿病と社会 -その脅威をいかに克服するか-」  
近年糖尿病は増加の一途を辿っている。糖尿病は失明や人工透析の主因であり、心筋梗塞などの動脈硬化症を促進させます。従って、糖尿病は国民健康の維持や医療経済上の大きな問題です。  
本セミナーでは、糖尿病の病態、本邦における糖尿病の現況、糖尿病と合併症に対する取り組みについて、我々の成果も含めて紹介します。
6. 上野眞也 「ソーシャル・キャピタルと地域社会」  
持続可能な地域社会を形成するためには、物的、人的、経済的資本の充実のみならず、信頼や互酬性の規範、人と人との関係性のネットワークというソーシャル・キャピタル（社会関係資本）を高める公共政策のあり方が重要です。